

3Dプリンタを応用した沖縄独自の 土産品2種を開発、商品化へ

2015年8月1日

株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄
株式会社オフィスハート

■概略

株式会社オフィスハート（沖縄県浦添市／代表取締役 土屋 佳子）と株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄（本社 沖縄県うるま市／代表取締役会長 武田 政樹）はこの度、沖縄で初めて3Dプリンタを応用したお土産品2種類を共同で開発し、今後商品化を行って販売することを発表しました。

■詳細

最近世界に広がる新たなものづくりの技術として3Dプリンタが広く応用され、少量多品種生産の現場に利用されてきており、今後は次世代家電として、広く家庭内の利用まで進むものと見られています。

一方で沖縄の伝統的な玩具などは製作工程が複雑で制作に手間と時間がかかり、難易度が高く、需要に供給が追いつかないという課題があり、これは後継者不足にも影響を及ぼし、その文化の継承が大きな課題となっています。

株式会社オフィスハートと株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄では、この文化的伝統玩具の保存継承・課題解決の方法として、3Dプリンタの正確な形状を少量多品種生産できる特徴を利用し、沖縄の伝統玩具の形状を再現。更に沖縄県内で、おもちゃ文化の普及活動を行うNPO法人会員が文化を学びながら彩色等の工程を経ることで、新たなお土産品として開発することに成功しました。

具体的には

- 1.琉球古来の玩具を3Dプリンタと手づけ彩色で復元
 2. 琉球みやげとなる楽しいクッキーカッターを3Dプリンタで製造
- の2種のお土産品を開発し、発売に向け最終調整中です。

(製品群詳細)

■琉球古来の玩具を3Dプリンタと手づけ彩色で復元

沖縄の民芸品として「琉球はりこ」の世界で知られる「カローピングガ(図1)」「ホートウグァー(図2)」「鯉乗童子・コイノリドウジ(図3)」「ウッチリクブサー」「モーヤーブドゥキ」などの名称で良く知られた琉球古来の玩具を古来からの資料より3Dモデルをデザインし、3Dプリンタで大枠の形状を作成後、手づけでの彩色を行う事で再現しました。

今後発売に向け、県内の伝統玩具有識者の意見交換や監修を経て、量産化を進める方針。



【図1】「カローピングガ」



【図2】「ホートウグァー」



【図3】「鯉乗童子」

■琉球みやげとなる楽しいクッキーカッターを3Dプリンタで製造

沖縄の特徴的な動植物や、さまざまな名物を生かしたクッキー型を3Dプリンタ用データとして作成し、こちらも生産・販売する事が可能となりました。

こちらは、「シーサー（阿・吽の2種）」「ジンベイザメ」「カクレクミノミ」「ハイビスカス」「ヤンバルクイナ」「カメ」の7種で琉球シリーズとして今後も品種を増加していきます。



【図5】「シーサー（阿）」

【図6】「シーサー（吽）」



【図7】「ジンベイザメ」

【図8】「カクレクマノミ」



【図9】「ハイビスカス」

【図10】「ヤンバルクイナ」



【図11】「カメ」



【図12】「焼かれたクッキー」

■今後に関して

株式会社オフィスハートと株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄はこちらの2商品をまずはマチルダ店内お土産コーナーに置くほか、各種問屋などを通して広く沖縄の土産販売店にも販売して行く予定です。

また両社は今後も共同でこういった沖縄独自の文化や歴史、生物等の観光資源を生かしつつ、最新IoT技術、3Dプリント技術等を利用した新たな商品を共同で複数開発し、沖縄のお土産品に新たな色どりを添え沖縄の産業発展に尽くしてまいります。

【問合せ先】

株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄 090-9007-8726 (担当：武田)
株式会社オフィスハート 098-988-0405

以上

【参考】

株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄
代表取締役会長 武田 政樹
資本金 300 万円
沖縄県うるま市字川崎4 6 8 番地 じんぶん館 1 F
URL <http://www.okinawa.ilaboratory.jp/>

2011 年設立。民生用・産業用のインタラクティブメディアや機器にかかわる高難易度・高度技術の要素技術開発・コンテンツノウハウの研究開発・事業化、および ICT 観光関連の開発事業を展開。2014 年より最新の IoT(Internet of Things)技術を応用した新規システムを複数開発、5つの事業で全国展開を開始。

株式会社オフィスハート
代表取締役 土屋佳子
資本金 100 万、従業員 3 名
沖縄県浦添市港川 2 丁目 1 3 - 2 No46
URL <http://www.heart-kids.net/index.html>

2007 年より良いおもちゃを通じた個人事業として子育て支援事業をスタート、2013 年株式会社法人化。代表者が大手玩具メーカー（株タカラ）で商品開発をしていた職域を活かし、沖縄のこども達に健全な遊び環境を届けるため、NPO 法人と連携しおもちゃの力を活用したソーシャルワークを展開。